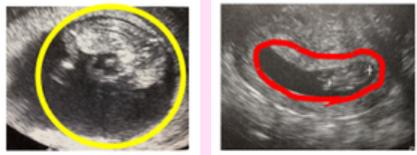


「5人に4人」が歯並び悪い現代。歯並びが悪いのは日本人だけではなく、全世界的にも問題になっており、どうすれば歯並び予防ができるのか？多くの研究がなされています。今回はどうしたら歯並びがいい子にできるか？についてお伝えします。実はとーっても**早い時期からのアプローチ**がポイントになります！

## ポイント① 産まれる前からのケア

あごの発育は胎児期から始まっています。ポイントは妊婦さんの子宮の形。トウガン型かまる型か？妊娠初期のエコー写真からも判断できます！



妊娠初期のエコー写真はどんな形でしたか？

丸い場合⇒子宮の歪みが少ない  
 長細い場合⇒子宮が歪んでいる

子宮の形は、お母さんの姿勢に影響されます。

### 歪んだ姿勢

まんまるの姿勢にならず  
 首がそってしまふ  
 舌が動きにくい  
 飲み込み(嚥下運動)の  
 練習ができない

生まれた  
 時点で発達が  
 遅れている

### 正しい姿勢

子宮は柔らかい  
 赤ちゃんは丸く  
 なり楽ちん

丸い姿勢(C字)で指が  
 口に届きやすい  
 飲み込み(嚥下運動)の  
 練習ができる

ママの脊柱の  
 S字カーブが  
 しっかりある

つまり、口腔育成にはママの正しい妊婦姿勢を作っていくことが大切！

## 現在の姿勢がどうか無料測定！ AI姿勢分析「シセイカルテ」

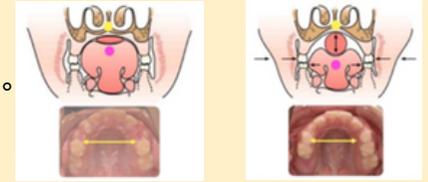
姿勢分析のスコアにより体の歪みを可視化します。診断後は、**マタニティコース**にて理学療法士と産前産後ケアリストによる**施術や骨盤ベルトと骨盤体操**などで正しい姿勢へのサポートを行います！



## ポイント② 正しい母乳育児

様々な論文から、長期的な**母乳育児**がお口の**成長発達を促す**ことが明らかになってきました。

母乳と哺乳瓶の時のお口の使い方と顎の形態の成長の違い→

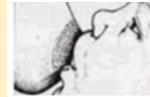


おっぱい

哺乳瓶やおしゃぶり

では、正しい母乳育児とはどんな状態でしょう？それは母と子それぞれにポイントがあります！

× 浅い



○ 深い



母（おっぱい）の状態：

乳首が**柔らかく伸びがよい**。  
 母乳の出る量が適切。

子（口）の状態：

上唇小帯、舌小帯の状態が適切で、唇の巻き込みがなく**深く乳首を咥えられ**、波打つように舌を動かしておっぱいをしごくことができる。授乳時間としては10～15分で満足する状態。

授乳期間は**2年間**！

## 助産師もサポートしています！

当院には助産師が在籍し、**マタニティ期から新生児期、赤ちゃん期まで継続して母乳育児をサポート**します！

### 助産師の授乳相談

8月随時開催中

1人30分1,650円  
 10:00~13:00

ご予約は受付またはお電話にて

### マタニティ教室

8月30日(金)

シセイカルテ無料診断付  
 10:30~11:30

ご予約はLINEリッチメニューの申し込みフォームより

### マタニティコース

助産師・理学療法士  
 産前産後ケアアドバイザー  
 から充実の個別指導

詳しいお話をご希望の方は  
 スタッフにお声がけください

## 新常識！

**産後1ヶ月は歯科健診も受けましょう！**

産科で1ヶ月健診を受けたら、お口のことはお口の専門医、歯科医に診てもらいましょう。